

都市計画・まちづくり・住宅

■11月27日：山元町新山下駅周辺地区第一期災害公営住宅新築工事着手式を開催！

災害公営住宅は、整備計画戸数15,000戸のうち、3,141戸に工事着手しております。そのうち、石巻市や岩沼市、山元町など6市町の14地区、994戸については、県が市町からの委託を受け、設計及び工事を実施する予定です。
この度、県が受託する工事の第1号として、山元町新山下駅周辺地区第一期の工事が始まりました。平成25年3月の工事完了に向けて整備を進めていきます。



山元町長、県土木部長による入札▲

(詳しくはURLをご参照ください <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/matsuri.html>)
なお、災害公営住宅の整備スケジュールも公開していますので、URLをご参照ください <http://www.pref.miyagi.jp/site/ei-earthquake/seiplan.html>)

○災害公営住宅の工事着手状況(平成24年11月末現在)

市町名	地区数	計画戸数	市町名	地区数	計画戸数
仙台市	12地区	1,167戸	石巻市	9地区	489戸
塩竈市	2地区	71戸	気仙沼市	1地区	160戸
多賀城市	1地区	160戸	岩沼市	1地区	224戸
栗原市	3地区	15戸	東松島市	2地区	41戸
大崎市	1地区	45戸	亶理町	1地区	100戸
山元町	2地区	90戸	七ヶ浜町	5地区	219戸
涌谷町	2地区	36戸	美里町	3地区	40戸
女川町	1地区	200戸	南三陸町	2地区	84戸
計 16市町 48地区 3,141戸 (うち 3市町 10地区 630戸 工事着手)					

■12月19日：仙台港背後地土地地区画整理事業の保留地を仙台市防災集団移転促進事業へ提供しました！



これまで、住宅地区の保留地(7区画)については、仙台市が防災集団移転促進事業の移転先として計画していたため、平成24年1月20日から一般販売を停止していました。今回、7区画を仙台市に正式に提供したことにより、仙台港背後地住宅地区の保留地は完売となりました。今後は、平成25年1月20日～2月5日に1次申込受付、2月24日抽選予定となっています。

見える復興・見せる復興

■県営住宅の被害状況と復旧状況を公開中！

県営住宅は、管理する102団地全てが被災しました。津波による全壊、外壁クラック、床上及び床下浸水等被害の他にも地盤や擁壁などに多くの被害が生じました。大規模な被害を受けた21団地のうち、全壊被害のあった2団地を除いた19団地については、平成23年3月～4月に工事請負契約を行い復旧工事に着手、平成24年3月末までに完了しています。



▲県営住宅 七ヶ浜松ヶ浜住宅 復旧前後

(詳しくはURLをご参照ください <http://cms.intra.pref.miyagi.jp/soshiki/juutaku/kenei-hisaijoukyou.html>)

■12月3日：仙台港背後地土地地区画整理事務所の東日本大震災以降の取組状況をまとめました！

東日本大震災により甚大な被害を受けた事業地区において、インフラの復旧工事と換地処分へ向けた取組を着実に進めており、「仙台港IC」の開通に合わせて、「みなと仙台ゆめタウン～東日本大震災からの復旧・復興状況について」をまとめました。(詳しくはURLをご参照ください <http://www.pref.miyagi.jp/site/sd-haigo-subsite/kirokushi.html>)



▲表紙

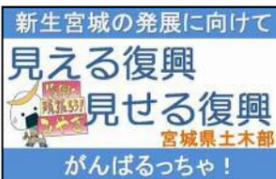


▲応急復旧状況(港北工業幹線)

○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班
H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>
T E L : 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp

(H24.12.21 作成)



防災

■11月16日：宮城県と国土交通省国土院は「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結しました！



この協定により、相互に、地理空間情報の活用及び技術的な情報共有の連携が図られ、災害対応においても、迅速で効果的な防災・減災への対応が強化されます。

県民の皆様へさらに安心を提供できるよう努めて参ります。
※地理空間情報とは、緯度・経度などの座標や住所などによって位置や領域が特定できる情報のことです。(詳しくはURLをご参照ください。)

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jiyokanri/kokudotiriin-kyoutei20121116.html>

■12月19日：県と(一社)宮城県空調衛生工事業協会は大規模災害時の応援協定を締結しました！

大規模災害時に、建築設備の被害状況調査を無償実施、県・市町村の費用負担による建築設備の配管損壊に伴う二次災害の防止、給水設備や排水設備の機能確保のための作業をご協力いただきます。(詳しくはURLをご参照ください。)

<http://www.pref.miyagi.jp/site/bousaikyoutei/kyuutyousei-eisei-koujigyoku-kyoutei.html>

宮城県土木部 復興だより 【第6号】

<平成24年12月21日現在>復旧・復興の最新のニュースをお届けします！

<お知らせ>復興フォーラムを開催します！

名称：「住宅・社会資本再生 東北復興フォーラムin宮城」

日時：平成25年1月31日(木) 午前9時30分から午後5時まで

場所：宮城県庁 2階講堂

第一部 <宮城県土木部技術研究発表会>

第二部 <挨拶> 宮城県知事 村井嘉浩
<講演> 国土交通省東北地方整備局長 徳山 日出夫
南三陸町長 佐藤 仁
東北大学 名誉教授 首藤 伸夫
(財)国土技術研究センター理事長 大石 久和

宮城県は、東日本大震災の発生からまもなく2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、本フォーラムを開催します。第一部では、住宅・社会資本再生に向けた県の取組や進捗状況、災害廃棄物の処理状況、漁港の復旧状況、復興まちづくりを進める市町村の取組、東北の復興を支える建設業の取組などについて発表していただきます。第二部では、国、県、被災町から、復興への考え方や取り組みを講演いただくほか、専門的、学術的な内容について、津波災害や国土政策に関する有識者から講演をいただくことで、今後の社会資本整備のあり方や新たな防災対策に活かすこととしています。

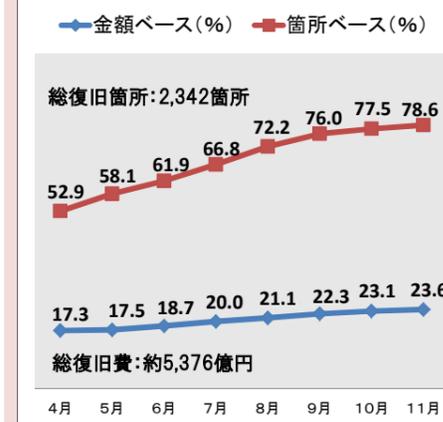
※参加には事前申し込みが必要です。(詳しくはURLをご参照ください <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/fukko-forum2013.html>)



全体

■災害復旧事業と「災害に強いまちづくり宮城モデルの構築」の進捗状況について(11月末現在)

○災害復旧工事の進捗状況(工事に着手した割合を着手率としています)



<公共土木施設全体の着手率の推移>

<各公共土木施設の着手率(11月末現在)>

施設種別	復旧箇所数	復旧費	箇所ベース%	金額ベース%
道路橋梁	1,565箇所	約842億円	約80%	約41%
河川海岸施設	352箇所	約3,217億円	約82%	約4%
港湾施設	292箇所	約884億円	約60%	約34%
下水道	121箇所	約402億円	約99%	約99%
砂防・地滑・急傾斜施設	9箇所	約8億円	約89%	約98%

○災害に強いまちづくり宮城モデルの構築

東日本大震災の教訓を活かし「津波対策・復興まちづくり・復興住宅」の復旧・復興事業を進めることで、災害に強いまちづくりを目指しています。

<津波対策>

箇所数	土木部所管 河川災害復旧事業	
	上段: 済・率 (応急工事を含む工事着手)	下段: 済・率 (本格工事着手)
42	36 85.7%	4 9.5%

箇所数	土木部所管海岸(建設・港湾)災害復旧事業	
	上段: 済・率 (応急工事を含む工事着手)	下段: 済・率 (本格工事着手)
126	56 45.2%	17 15.1%

<復興まちづくり>

計画地区数	防災集団移転促進事業	
	上段: 済・率 (事業計画同意)	下段: 済・率 (造成工事着手)
185	166 89.7%	10 5.4%

計画地区数	土地地区画整理事業	
	上段: 済・率 (都市計画決定)	下段: 済・率 (事業認可)
31	11 35.5%	4 12.9%

<復興住宅の整備>

計画戸数	災害公営住宅	
	上段: 済・率 (事業着手)	下段: 済・率 (建築工事着手)
15,000	3,141 20.9%	630 4.2%

※グラフ中の赤色の部分は10月末に対しての増加分です。

(市町ごとの進捗率など、詳しくはURLをご参照ください。 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku.html>)

